

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network Now

2017 No.497

5 / 1

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 第25回 タイ王国 放射線技師学術大会 開催される

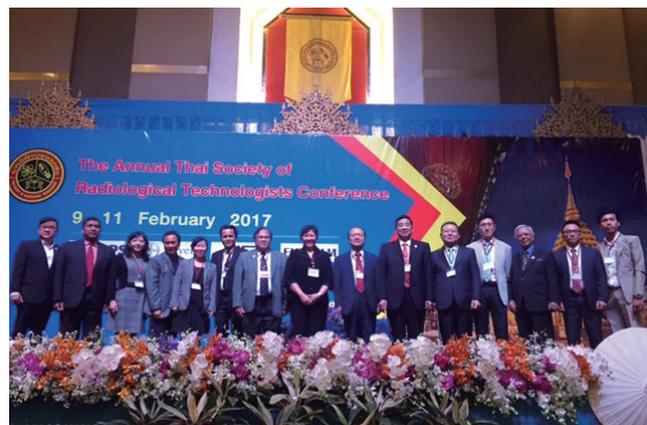


2017年2月9日(木)から11日(土)までの3日間、The 25<sup>th</sup> Annual Conference of Thai Society of Radiological Technologists (第25回タイ王国放射線技師学術大会)が、チェンマイのLotus Pang Suan Kaewにおいて開催された。今回の学術大会は、アジア地域を中心に12カ国、65人の外国人を含め、約500人が大会に参加した。日本からは、中澤会長、児玉理事をはじめ4人が参加した。

大会初日はOpening Ceremonyに引き続き、海外からの招待講演があった。また本会会員1人による一般口述発表(英語セッション)もあった。さらにThe Third ASEAN School of MRI Technologyが開催され、ASEAN各国の診療放射線技師が参加し、MRIの技術に関する多くの講演が行われた。また2日間にわたってTrauma Radiology、Updates in Nuclear Medicineなど、多くの教育講演も開催された。これらのセミナーは全て英語で講義が行われており、ASEAN各国の診療放射線技師による活発な質疑応答が行わ

れた。2日目の夜には Gala Dinnerも開催され、各国の代表者が民族衣装に着替えDinnerに参加するとともに、それぞれ情報交換を行った。

なお、タイの診療放射線技師教育は全て大学教育になっており、今年新たに1大学で診療放射線学科が設置される予定になっているが、女性の診療放射線技師が学部長に就任することが大会期間中に報告された。日本においても、多くの大学で診療放射線技師が活躍することを期待したい。



# 第69回 診療放射線技師国家試験 分析結果

国家試験問題評価委員会 委員長 佐野 幹夫

第69回診療放射線技師国家試験が、平成29年2月23日(木)に全国9カ所の試験会場で実施され、翌月の3月29日(水)に厚生労働省より合格者の発表が行われた。例年通り、14科目から試験問題が出題された。また厚生労働省ホームページ上で公表されている平成28年度の第69回診療放射線技師国家試験の合格者数は下記の結果となった。

## ●平成28年度 第69回診療放射線技師国家試験結果

受験者数：2,939名 合格者数：2,511名 合格率：85.4%

## ●過去の合格率との比較

年度	受験者数	合格者数	合格率
平成28年度 第69回	2,939人	2,511人	85.4%
平成27年度 第68回	3,016人	2,377人	78.8%
平成26年度 第67回	2,839人	2,094人	73.8%
平成25年度 第66回	2,907人	2,224人	76.5%
平成24年度 第65回	2,426人	1,615人	66.6%

(上記のように、過去の合格率から比較して本年度の合格率は非常に高い数値を示した)

次に、診療放射線技師国家試験問題評価委員会が厚生労働省に本会を通して答申した平成28年度第69回の国家試験問題の評価分析結果を踏まえ、答申書から抜粋し引用掲載する。

## 第69回診療放射線技師国家試験問題についての答申

### 1. 総評

診療放射線技師として必要とする知識および技能を問う問題が適切に出題されていた。全体の印象として出題内容に偏りはなく、例年になく授業および臨床実習の成果を評価できる良問が多かった。またこれまでに出版されていなかった医療倫理・チーム医療などの問題もあり、将来の医療従事者としての適性を的確に評価できるように工夫されていた。一方、現在では用いられていない用語が一部の設問に表現されており改善を求めたい。そして設問の中に、ガイドラインに定められた表現がされていない問題が認められた。

しかし、複数解答および解答なしと思われる問題は少なかった。これは試験委員長、副委員長を中心とした試験委員の丁寧かつ慎重な検討の結果と推測される。しかしながら、業務内容が拡大する中で領域ごとの設問数に現状では限りがあり、適切な考課とならないことを危惧しており、医療現場で日常的に読影の補助が行われている現状を勘案すれば、設問数の増加は必要であると考えられる。

### 2. 具体的な内容

- (1) 以前より当委員会(日本診療放射線技師会)から要望している日常業務に必要なQA・QC、医療安全などに関する出題も見受けられ、問題内容の偏りもなく、これから診療放射線技師として業務を担うための知識および技能を的確に評価できている。
- (2) 近年、チーム医療および医療倫理教育について、卒前教育の場でも重視されてきている。これまでは診療放射線技師国家試験では出題されていなかったが、今回の試験では2問(午前35、午後35)出題されていた。免許取得者の多くが医療機関に就職することを勘案すれば、他職種連携および医療倫理に関する設問は、今後も出題をお願いしたい。
- (3) 医療安全(午前36)、AEDの取り扱い(午後63)および救急撮影(午後84)の問題が出題されていた。具体的な対処を問う設問になっており良問である。このように、実技面を重視した問題は今後も出題をお願いしたい。
- (4) 現在ではあまり用いられない専門用語が使われていた。(午後40) 基準点 → 基準深
- (5) 造影剤の副作用、高磁場対策、感染症に関する設問の出題がなかった。この領域の知識は診療放射線技師にとって医療安全の観点から重要となる項目であり、今後は出題を検討していただきたい。
- (6) 正否を判断するのに困難な設問が見られた。文字数に制限もあり詳しく説明するには難しい場合もあるが、可能な限り受験者に分かりやすい表現での設問をお願いしたい。(午後87) 4. ポジショニングの際は乳房を最大限挙上する。
- (7) (午前86)は問題としては成立するが、アキレス腱のX線撮影を臨床実習で経験する受験生は少なく、授業でも解説されていないと推測される。もっと多くの受験生が臨床実習で体験する検査法についての出題をお願いしたい。
- (8) 別冊画像に関する問題において臨床業務を反映した適切な設問がある一方で、総合的な知識(技術・解剖・疾患)を必要としない安易な設問も見受けられた。
- (9) (午前91 別冊No.12) DSA画像であるため、解剖の位置関係が明瞭でない。そのため浅大腿動脈・膝窩動脈の位置が解剖学的に特定困難である。DA画像で大腿骨・膝関節も確認できる画像を使用すべきである。
- (10) (午後89 別冊No.9) 胃部の造影画像は、観察部位

だけでなく全体の画像で設問すべきである。

(11)(午前83) 問題に診療放射線技師の対応と記載されているが、あえて限定した理由の意図が理解できない。受験者の混乱を招くだけである。

(12)(午前98) 問5に記載されている用語の不適切(電離放射線障害防止規則に基づく)。

法令用語について

電離健康診断個人票 → 電離放射線健康診断個人票

### 3. 今後に向けての提案

医療を受ける国民にとって重要なことは、その時々で最良の医療が受けられることである。日進月歩の医療の中で、医療職に求められる知識・技術は増え続けている。一方、使われなくなる技術もあるが、知識としては当面必要である。国家試験に出される問題の傾向は、教育現場で即座に対策されるため、現在、医療で行われている医療職としての役割(救急医療・一次読影など)を問うことで、安全な医療に反映することが可能である。また医の倫理、感染対策、チーム医療など、医療職横断的に必要な設問を検討いただきたい。さらに国家試験は教育現場に直結され、いち早く求められる教育が享受されるため、出題基準にとらわれず、時には医療社会のニーズを反映し医療専門職種の資格に特化した、例えば被ばく評価・テロ対策など、施策に関連させた出題を組み込むことが必要ではないかと考える。

幅広い効果的な試験を課すためには、問題数の増加を切に願いたい。

\*上記の理由により国家試験問題数の増加をお願いしたい。

提案：200問(現行) → 240問(改正後)

出題数を増加すべき科目名と問題数の内訳

①基礎医学大要	30問→40問(10問増)
②エックス線撮影技術学	20問→25問(5問増)
③診療画像検査学	20問→25問(5問増)
④診療画像機器学	20問→25問(5問増)
⑤放射線安全管理学	10問→20問(10問増)
⑥医用画像情報学	10問→15問(5問増)

### 4. 回答困難であろう問題

(解答なし)

(午前76) 設問に誤植があり、選択肢に解答がない。

3行目  $T_{on}=4T_{off}$  (誤) →  $T_{off}=4T_{on}$  (正)

### 5. 解答が複数あると思われる問題

(複数解答)

(午後28) SPECTでリングアーチファクトを生じるのはどれか。

1. 患者の体動
2. 感度の不均一

3. 回転中心のずれ

4. シンチレータの破損

5. 目的臓器以外の高集積

解答：2、3、4の複数解答

理由：いずれもリングアーチファクトを生じる。専門書でも解説されている。

(午後78) 半導体で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 比抵抗値は  $10^{-8} \sim 10^{-4} \Omega \cdot m$  である。

2. 温度が上昇すると抵抗値が低くなる。

3. N型半導体の多数キャリアは正孔である。

4. 真性半導体には電子と正孔が同数存在する。

5. 純度の高い材料は微量の不純物によって導電率が変化する。

解答：設問に対して、選択肢2、4、5は正しい。

2と4、2と5、4と5の複数解答

(午前88) 肝臓の造影CTで正しいものはどれか。

1. ヨード造影剤の添付文書に食事制限はなく、絶食の方が副作用の発現頻度が高くなるという報告もある。検査臓器が胆のうであれば食事制限が必要な時もあるが、肝臓であるため食事の影響はない。臨床現場ではCT検査は予約検査だけでなく当日検査での実施も多く、この場合は、当然食事制限は行われていない。

2. 肝動脈相を2時相撮影することがある。肝動脈を撮影する時相と、その後に肝実質内が動脈血で濃染された時相である。この場合は、1回の呼吸停止で肝動脈相2時相撮影が行われる。

5. ヨード造影剤の添付文書に、重篤な腎障害がある場合は禁忌となっており、腎障害の有無の評価として意味がある。しかし、重篤な腎障害の評価にはGFRではなく、血清BUNやクレアチニンで十分である。GFRはMRのガドリニウム造影剤の表現であるが、間違いではない。

解答：1、2、5 上記の理由で複数解答

以上が、3月15日(水)に本会が厚生労働省に提出した答申書の内容の一部を抜粋したものである。本会が指摘したうち3つの問題が取り上げられ採点に配慮が見られた結果となったことは、本会から提出した答申書が少なからず影響したと認識している。また短期間のうちに取り組んでいただいた診療放射線技師国家試験問題評価委員の皆さま方のご協力に感謝する。

最後に、新たに今回誕生した2,511人の診療放射線技師の皆さまには、合格をお喜びするとともに臨床現場での今後の活躍に期待したい。そして診療放射線技師の唯一の職能団体である本会へ、全ての皆さんが入会されることを切に望むものである。

## 平成28年度 第2回 放射線被ばく相談員講習会 開催される

平成29年2月25日(土)・26日(日)の2日間、本会事務所講義室で第2回放射線被ばく相談員講習会が定員数満席で開催された。事前収録された講義5コマを受講前に視聴いただき、本会 中澤会長の講義から始まった講習会は、2日目の認定試験まで5コマの講義と2コマの実技で構成されていたが、受講生の皆さまにとってはハードな2日間であったと感じた。

本講習会は、医療被ばく相談への対応のみならず、災害時被ばく相談の対応も可能とすべくプログラムが編成されている。受講者には医療被ばく相談へ対応できるよう、最新の知識のみを習得できると思われて参加された方もいたが、実技である傾聴訓練の重要性を体験された後は、改めて実技の必要性を感じたとの感想を聞くことができた。

平成29年度の放射線被ばく相談員講習会からは、他の認定資格開催と同様に、e-ラーニングへ移行した講習会になる予定である。放射線被ばく相談員講習会受講の詳細は、会誌などを参照していただきたい。

放射線を扱う職業人として、医療の現場では検査だけをやる人という枠組みを超え、チーム医療を担う一員であることは自明であり、医療の枠を超えた部分では、放射線を冠とした職業人として国民からの声を聞くこと、放射線問題への対応がますます重要と感じた今回の講習会であった。

(文責：地主明弘)



## 放射線取扱主任者定期講習会 開催される

平成29年2月17日(金)午前9時から、本会事務所講義室で平成28年度第3回放射線取扱主任者定期講習会が開催された。本講習会は、平成17年12月1日に「放射性同位元素による放射線障害の防止に関する法律」第36条の第2第1項に規定する登録定期講習機関として登録されており、継続して開催している。

受講者は、会員10人、非会員2人の合計12人であった。講習会は9時10分から開催され、株式会社千代田テクノル 遠藤正志先生による「法に関する課目」および「事故の事例に関する課目」の講義があった。午後は、国立がん研究センター中央病院 北村秀秋氏による「放射性同位元素及び放射性同位元素によって汚染された物の取扱いに関する課目」の講義があり、内容は、密封線源の取り扱いや非密封線源の操作の危険性などであった。続いて、東京医科大学病院 筑間晃比古先生の「放射線発生装置取扱いに関する項目」および「使用施設等の安全管理に関する課目」の講義があった。「放射線発生装置取扱いに関する項目」は、放射化物の取り扱い



遠藤先生による講演の様子



も含めた内容であった。

最後に閉講式を行い、無事に終了した。

## 第23回 読影分科会ナイトセミナー開催される

平成29年3月13日(月)、本会事務所講義室で第23回読影分科会ナイトセミナーが開催された。第22回(1月23日(月))に引き続き、講師に東京医科大学病院 吉田和則氏を招き「実臨床に役立つ胸部疾患の鑑別診断シリーズ⑤(胸部画像のサインの定義と臨床的意義)」をテーマに開催された。主な講義内容として、画像所見に用いられるサインは短い言葉で多くの内容を表現し、実臨床でのコミュニケーションに役立つ重要なツールであるとの解説がなされた。

本セミナーはシリーズ化されており、シリーズ①「孤立性結節影(形状・大きさ、辺縁性状、内部性状、経時的变化)」、シリーズ②「多発粒状影の分布(小葉中心性、汎小葉性、小葉辺縁性、非小葉性)」、シリーズ③「浸潤影・すりガラス影」、シリーズ④「線状影・網状影/空洞形成」について、胸部単純X線画像と胸部CTから得られる所見についての解説と症例提示がなされてきた。

シリーズに共通するものとして、胸部疾患を理解する上でカテゴリー別に画像所見を整理し、系統的に理解することは極めて有用であるが、実臨床においては、カテゴリーすら



unknownの症例にも遭遇することもある。この場合には別の観点から画像診断のアプローチが必要であり、主要な画像所見を抽出してパターン分類を行い、その他の付随する画像所見を組み合わせることで鑑別の精度が向上するとの内容であった。

最後に、セミナー開催に合わせて行われるアンケートには「東京以外でも開催してほしい、毎回このような症例に特化した内容にしてほしい、全国にWeb配信してほしい」などの意見が寄せられていた。

## 東日本大震災六周年追悼式挙行される

平成29年3月11日(土)午後2時30分から、国立劇場で東日本大震災六周年追悼式が政府主催により挙行された。東日本大震災は被災地域が広範に及び、極めて多数の犠牲者を出すとともに、国民生活に多大な影響を及ぼした未曾有の大災害であったことから、発災6年を機に、国として、被災者を追悼する式典を開催したものであった。当日は、文仁親王

同妃両殿下のご臨席の下に、各界代表の参列を得て実施された。本会からは中澤会長が出席した。

追悼式は、国歌斉唱、黙とうの後、内閣総理大臣式辞および追悼の辞があった。追悼の辞では、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官および遺族代表から述べられ、その後、献花が行われ閉式した。

## JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

# 医療被ばく低減施設認定の申請募集

医療被ばくに関して、診療放射線技師が責任を持って情報の開示や十分な説明をすることは当然である。本認定事業は、医療用放射線利用による医療被ばくを低減している施設が、この認定に向けて準備を行うことで、改めて医療被ばく低減への取り組みを振り返っていただき、また国民に「医療被ばく低減(医療被ばくの適正化)」という情報を提供することで、結果として医療提供側・患者側の双方に大きなメリットとなる。

この認定事業は時期を問わず募集しているが、審査料や認定料が発生するため、自施設で予算を取っていただく必要がある。審査費用は、書面審査料は無料、訪問審査料は審査項

目に核医学を含まない施設が3万円、審査項目に核医学を含む施設が8万円となっており、認定登録料は2万円である。この医療被ばく低減施設認定の審査は、本会からお送りする調書による書面審査とサーバイヤーが施設まで直接審査に訪れて実施する訪問審査があり、訪問審査は書面審査に合格した施設に対して実施する。この認定制度は、真正性と公平性および継続性を確認するため、認定期間を5年間とした更新制度となっている。

審査希望の施設は、本会ホームページ<http://www.jart.jp/activity/teigenshisetu.html>をご参照の上、ぜひご申請いただきたい。

平成29年4月1日現在の認定施設(70施設)

認定番号	施設名	認定番号	施設名
1	独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院	36	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
2	社会医療法人泉和会 千代田病院	37	医療法人社団協友会人間ドッククリニック柏(現在、柏厚生総合病院と併合)
3	独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター	38	独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター
4	東京慈恵会医科大学附属病院	39	JA愛知厚生連 安城更生病院
5	東京慈恵会医科大学附属第三病院	40	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
6	社会医療法人生長会 ベルランド総合病院	41	医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院
7	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	42	社会医療法人生長会 ベルビアノ病院
8	学校法人常葉学園グループ常葉リハビリテーション病院	43	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院
9	社会医療法人孝仁会 星が浦病院	44	公益社団法人福岡医療団千鳥橋病院
10	財団法人津山慈風会 津山中央病院	45	日本赤十字社 小川赤十字病院
11	市立三次中央病院	46	医療法人 社団協友会 柏厚生総合病院
12	独立行政法人国立がん研究センター がん予防・検診研究センター	47	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院 土浦協同病院
13	福井県立病院	48	獨協医科大学病院
14	兵庫県立塚口病院(兵庫県立尼崎病院と統合のため、新施設にて新規申請準備中)	49	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院
15	神戸百年記念病院	50	JA愛知厚生連 江南厚生病院
16	社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	51	JA愛知厚生連 渥美病院
17	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院	52	一般財団法人 ぎふ総合健診センター
18	地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立こども病院	53	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院
19	医療法人新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院	54	旭川赤十字病院
20	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	55	JA愛知厚生連 稲沢厚生病院
21	山梨勤労者医療協会 甲府共立病院	56	医療法人社団愛友会 三郷中央総合病院
22	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	57	東海大学医学部付属病院
23	社会医療法人財団白十字会 白十字病院	58	富士宮市立病院
24	獨協医科大学越谷病院	59	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院
25	秋田県横手市 市立横手病院	60	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
26	赤津整形外科クリニック(現在、更新申請準備中)	61	JA愛知厚生連 豊田厚生病院
27	順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター	62	JA愛知厚生連 海南病院
28	昭和大学病院	63	医療法人信岡会 菊池中央病院
29	昭和大学藤が丘病院	64	熊本地域医療センター
30	昭和大学横浜市北部病院	65	浜松医療センター
31	JR九州病院	66	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
32	独立行政法人国立病院機構 関門医療センター	67	豊橋市民病院
33	やわたメディカルセンター	68	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター
34	平塚共済病院	69	公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院
35	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院	70	一般財団法人 芙蓉協会 聖隷沼津病院

## 鈴鹿医療科学大学 学位授与式・入学式

平成29年3月15日(水)、中澤靖夫会長は、鈴鹿医療科学大学白子キャンパス講堂で開催された平成28年度鈴鹿医療科学大学学位授与式に参列し、祝辞を述べた。式では、医療科学研究科博士後期課程修了者2人、修士課程修了者6人、保健衛生学部放射線技術科学科卒業生93人に学位記が授与された。

また新年度に入り、4月2日(日)、前述の同会場で開催された平成29年度入学式に参列し、祝辞を述べた。本年度の学部入学者数は、保健衛生学部放射線技術科学科117人を含む617人、編入学8人、大学院入学者数は医療科学研究科17人、薬学研究科2人の計19人であり、入学者総数は644人となった。



祝辞を述べる  
中澤会長



平成28年度 学位授与式



平成29年度 入学式

## 国際学術大会スケジュールのお知らせ

下記の通り、関連の国際学術大会が予定されております。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

また下記の大会は、国際学術交流助成の対象となります。申請の詳細は、

本会ホームページ  
(<http://www.jart.jp/profile/j3kk2n0000000bfb-att/kokusaigakujyutukouryu.pdf>)  
をご確認ください。最新情報ならびに参加登録などの詳細は各Webサイトをご確認ください。



### 第21回 AACRT (Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists)

■開催日程：2017年6月23日(金)～6月25日(日)

■開催地：香港 香港サイエンスパーク内コンベンションセンター3

詳細は、会誌4月号をご覧ください。\*国際学術交流助成は締め切っております。

### 第24回 EACRT

(24<sup>th</sup> East Asia Conference of Radiological Technologists : 東アジア学術交流大会)

第33回日本診療放射線技師学術大会に併催

■開催日程：2017年9月22日(金)～24日(日)

■開催地：日本 北海道 函館 函館市民会館・函館アリーナ

\*国際学術交流助成の対象は海外の診療放射線技師となります。

### 第20回 ISRRT World Congress

■開催日程：2018年4月12日(木)～15日(日)

■開催地：トリニダード・トバゴ共和国 Hyatt Regency

また下記の学術大会は国際学術交流助成になりませんが、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

### The 17<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting of Macao Radiological Technologists' Association

■開催日程：2017年9月10日(日)

■開催地：マカオ 9/F ICBC Tower, Landmark Macao (Conference Room of Dr. Stanley Ho Medical Development Foundation)



INFORMATION

# 茶の湯の文化



わが家では抹茶を妻とよくたてます。作法は気にせず一服すると、抹茶は疲れを癒やし、ストレスが解消されるような感じがして心とみます。私も同じようにたてますが、茶せんの使用方が未熟のようで泡立ちが少なく、中央に泡が盛り上がるようにと願ってたてています。

お茶の産地ではない松江ですが、どこの家庭にも茶せん抹茶わんが普通にあるように、松江にはお茶に親しみ、楽しむ習慣が根付いています。これは、茶人“不味公”のおかげであり、その活躍が松江の茶の湯文化を根付かせるきっかけになりました。

茶の湯文化をもたらし松平不味公は、松江藩7代藩主であった松平治郷で、江戸時代後期の大名茶人として知られています。藩の財政を立て直すことに力を入れる一方で、茶人としての才能も一流だった不味公は、自ら「不味流」茶道を大成します。茶道具・和菓子・書道・庭木といった茶道の回りに広がる文化も育て、茶会に用いた和菓子の数々を記録に残しており、いくつかは「不味公好み」と呼ばれ、今でも親しまれています。

“抹茶は苦いもの”と思われそうですが、意外にも苦みのなさが持ち味で和菓子と合います。

和菓子は日本の全国各地で時代とともに工夫を凝らし発展し、今から400年ほど前に、京都と江戸を中心に贈り物や茶道におけるお茶菓子として、五感で楽しむお菓子だといわれています。

視覚：季節の花を表現した美しい姿や色を見て楽しむ

触覚：手に持ったときやようじを入れたときの、やわらかさを楽しむ

味覚：おいしくいただいて楽しむ

嗅覚：和菓子には「ほのかな香り」

聴覚：季節のうつろいや花、和歌・俳句からとった美しい名前の響きを耳で楽しむ

松江でのおいしさの一つは「甘い<sup>あま</sup>がごっつお」と表現される“甘み”とされています。甘味はご馳走で、甘味を出すことが“おもてなし”だったともされ、甘みがおいしさの価値観とされています。

おいしいお茶には、一般的なおいしいお茶、個人的なおいしいお茶の2通りがあります。一般的なおいしいお茶は、茶種によって入れ方を変え、茶葉の持ち味を十分に引き出したお茶で、個人的なおいしいお茶は、入れ方はどうでも“うまいっ”と感じればよいのです。

日本診療放射線技師会は「国民と共にチーム医療を推進しよう」をスローガンに、さまざまな事業を展開しています。第186回通常国会において、診療放射線技師法の一部改正が行われたことは大きな成果でした。一人一人の持ち味を十分にアピールされる会員、そして事業が“うまいっ”と積極的に行動される会員を求めています。われわれの将来像を確立するために、診療放射線技師全員が参画されることを熱望します。

(文責：小林一郎)

## 診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

### ■フレッシューズセミナー開催予定：

福岡	5月13日(土)	九州大学病院 臨床小講堂2	茨城	5月21日(日)	茨城県立医療大学
埼玉	5月21日(日)	ウエスタ川越 2階会議室1・2	鹿児島	5月21日(日)	会場(調整中)
秋田	5月27日(土)	秋田県総合保健センター	栃木	5月28日(日)	獨協医科大学病院 教育医療棟6階 シミュレーション講義室1
東京①	5月28日(日)	東京都診療放射線技師会研修センター	富山	6月4日(日)	富山大学附属病院 多目的研修室
熊本	6月10日(土)	熊本大学医学部附属病院 東病棟12階 多目的室	岩手	6月11日(日)	会場(調整中)
福島	6月11日(日)	(一財)太田総合病院附属太田西ノ内病院	東京②	6月11日(日)	東京都診療放射線技師会研修センター
千葉	6月11日(日)	井上記念病院 8階講堂	北海道	6月17日(土)	北海道放射線技師会研修センター
青森	6月17日(土)	会場(調整中)	宮城	6月17日(土)	戦災復興記念館
静岡	6月17日(土)	静岡県放射線技師会 事務所	大阪	6月18日(日)	島津製作所 関西支社 島津マルチホール
奈良	6月18日(日)	奈良県社会福祉総合センター	沖縄	6月18日(日)	沖縄県南部医療センター・こども医療センター
福井	7月1日(土)	福井県立病院 5階大会議室	京都	7月2日(日)	会場(調整中)
和歌山	7月2日(日)	会場(調整中)	新潟	7月8日(土)	会場(調整中)
岐阜	7月8日(土)	シティホテル美濃加茂	大分	7月8日(土)	会場(調整中)
宮崎	7月8日(土)	宮崎市医師会病院 研修棟1F 看護研修室	山口	7月9日(日)	山口県総合保健会館 第2研修室
三重	7月22日(土)	鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス B講義棟1階 3513教室	佐賀	7月22日(土)	会場(調整中)
長野	7月22日(土)~23日(日)	会場(調整中)	石川	7月23日(日)	石川県済生会金沢病院 2階 討議室
滋賀	7月23日(日)	会場(調整中)	香川	8月5日(土)	サンポートホール高松
愛媛	8月26日(土)	会場(調整中)	神奈川	8月27日(日)	会場(調整中)

INFORMATION

第8回

## 第33回日本診療放射線技師学術大会 函館への道(食・街・人)

函館放射線技師会 会長 真壁武司

### 函館のスイーツ

函館といえば「水産物」というイメージが強いですが、函館には他に引けを取らないスイーツがたくさんあります。歴史ある函館で作られる創意工夫を凝らした和洋菓子は「函館スイーツ」と呼ばれ、函館市がホームページを開設し、町を挙げて宣伝を行っております(HP:<http://www.hakodate-sweets.com/index.html>)。甘党の方々は、ぜひホームページをご確認の上、食べ歩きをしていただきたいと思います。

#### ●美鈴コーヒー

昭和7年(1932年)函館で創業、北海道で一番古い老舗コーヒー店といわれています。函館市内に店舗を展開し、函館空港内にもお店があります。古くからの伝統の味わいを皆さまにも届けたく、今回、学会期間中のコーヒーサービスは、美鈴コーヒーを提供したいと思っております。学会中のひと休みにお試しください。

#### ●銀月(ぎんげつ)

店舗は学術大会の会場に近い、湯の川地区にあります。湯の川名物といえば銀月の「やきだんご」があります。昭和41年創業の和菓子と団子の専門店です。函館でも超有名店です。会場周辺を散策しながら立ち寄るのもいいかもしれません。

#### ●コーヒールームきくち

お店は会場から少し離れますが、湯の川地区から空港へ向かう途中にあります。喫茶店ですが「ソフトクリーム」が有名で、中でも「モカソフト」はTV番組でも紹介された一品です。9月はそろそろ寒くなってくるころですが、日中の暖かいときにはお薦めです。

#### ●ペイストリースナッフルス

ここのチーズオムレットは函館土産の定番で、知っている方も多くいると思われます。チーズオムレットは、フォークで切るとまるで半熟オムレットのようにトロリとしたやわらかい食感を持ったスフレタイプのチーズケーキです。函館発信のスイーツであり、無添加で北海道の自然のおいしさを味わうことができる一品です。

#### ●パティスリープティメルヴィーユ

こちらもおいしい一口サイズのチーズケーキです。「函館メルチーズ」は、北海道の素材を使い口の中でとろける味わいの食感を持っています。チーズケーキだけではなくいろいろなスイーツがありますので、港近くの「赤レンガ倉庫BAYはこだて店」などに足を運んでいただければと思います。

まだまだ紹介しきれないスイーツのお店が函館市内各地区にはたくさんあります。時間が許されるのであれば「函館スイーツ」のホームページを参考に、出掛けてみてください。



銀月「やきだんご」



スナッフルス「チーズオムレット」

## 本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- ① 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から「新規入会はこちらから」をクリック
- ② 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL: 03-5405-3612 E-mail: [info@jart.or.jp](mailto:info@jart.or.jp)

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。



INFORMATION

# 本会の動き

# 編集委員会より

編集委員会は、毎月1回本会事務所で開催されております。委員会の業務は会誌「JART」の発刊がメインですが、ニュースとしてNetwork Nowも毎月発刊しております。

会誌のコンテンツは、告示・お知らせなどはもとより、連載企画・紙上講座・特集なども多様な角度より企画し、掲載しております。

近年、本誌への論文投稿も増えており、大変うれしく思います。最近では各分科会より情報発信として、紹介や活動内容、紙上講座的な教育コンテンツも掲載しております。編集委員会では一昨年より新たに「企画委員会」を設置し、さらなるコンテンツの充実を目指しております。

皆さまにとって楽しい会誌になるよう、委員会を挙げて鋭意作成してまいりますのでご期待

ください。また本年度は現場の皆さまの下への取材も多く行わせていただき、工夫点や改善点など「目からうろこ」的な内容も企画中です。

さて、Network Nowですが、2017年4月より電子版へ移行しました。このNetwork Nowは、1994年4月15日号に第1号が創刊されました。それまでは「日放技ニュース」として218号まで発刊しており、本年度中には創刊より通算で500号を迎える予定です。

Network Nowの第1号(通巻219号・写真左)ですが、故中村實元会長の発刊に寄せてのあいさつと、その下段には大学院開設のための寄付金募集の掲載がありました。本会の歴史がうかがえます。

また表紙文字も時代を感じさせますが、現在でもデザインは継承しております。

今後も3つの目標の下に会誌、Network Nowを作成してまいります。

- 1. 正確な情報
- 2. 楽しい企画
- 3. すぐに役立つ情報

会誌は、本会と会員をつなぐ大きなツールであり、情報源です。会員の皆さまからの寄稿や論文・報告記事なども、奮って投稿いただければ幸いです。今後の会誌、Network Nowにご期待ください！  
文責：JART 編集委員長 富田博信



## 5月・6月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ 業務拡大に伴う統一講習会：	秋 田	5月20日(土)～21日(日)	宮 城	5月20日(土)～21日(日)
	福 井	5月20日(土)～21日(日)	福 岡	5月21日(日)・28日(日)
	埼 玉	5月27日(土)～28日(日)	岐 阜	5月27日(土)～28日(日)
	青 森	6月 3日(土)～ 4日(日)	群 馬	6月10日(土)～11日(日)
	神奈川	6月10日(土)～11日(日)	島 根	6月10日(土)～11日(日)
	熊 本	6月17日(土)～18日(日)	愛 媛	6月24日(土)～25日(日)
	大 分	6月24日(土)～25日(日)		
■ 基礎技術講習 (MRI 検査)：	佐 賀	5月14日(日)	大 阪	5月21日(日)
■ 放射線取扱主任者定期講習：	東 京	6月16日(金)		
■ 実践医療被ばく線量評価セミナー：	東 京	6月18日(日)		
■ 医療画像情報精度管理セミナー：	三 重	6月24日(土)		
■ ナイトセミナー：	東 京	6月26日(月)		

### 事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。